2026/10/07　令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会

消化器内視鏡案件からの学びと提案
―　医療技術・製品の展開から定着までを考える　―

1. 内視鏡診療技術

早期診断から治療までの課題と対応
ミャンマー・ベトナムの案件の経験から

成田富里徳洲会病院　佐藤純人
Department of Surgery, Narita Tomisato Tokushukai Hospital



2019年～2021年

ミャンマーにおける消化器がんの腫瘍外科医育成事業（新ヤンゴン総合病院　ヤンゴン）



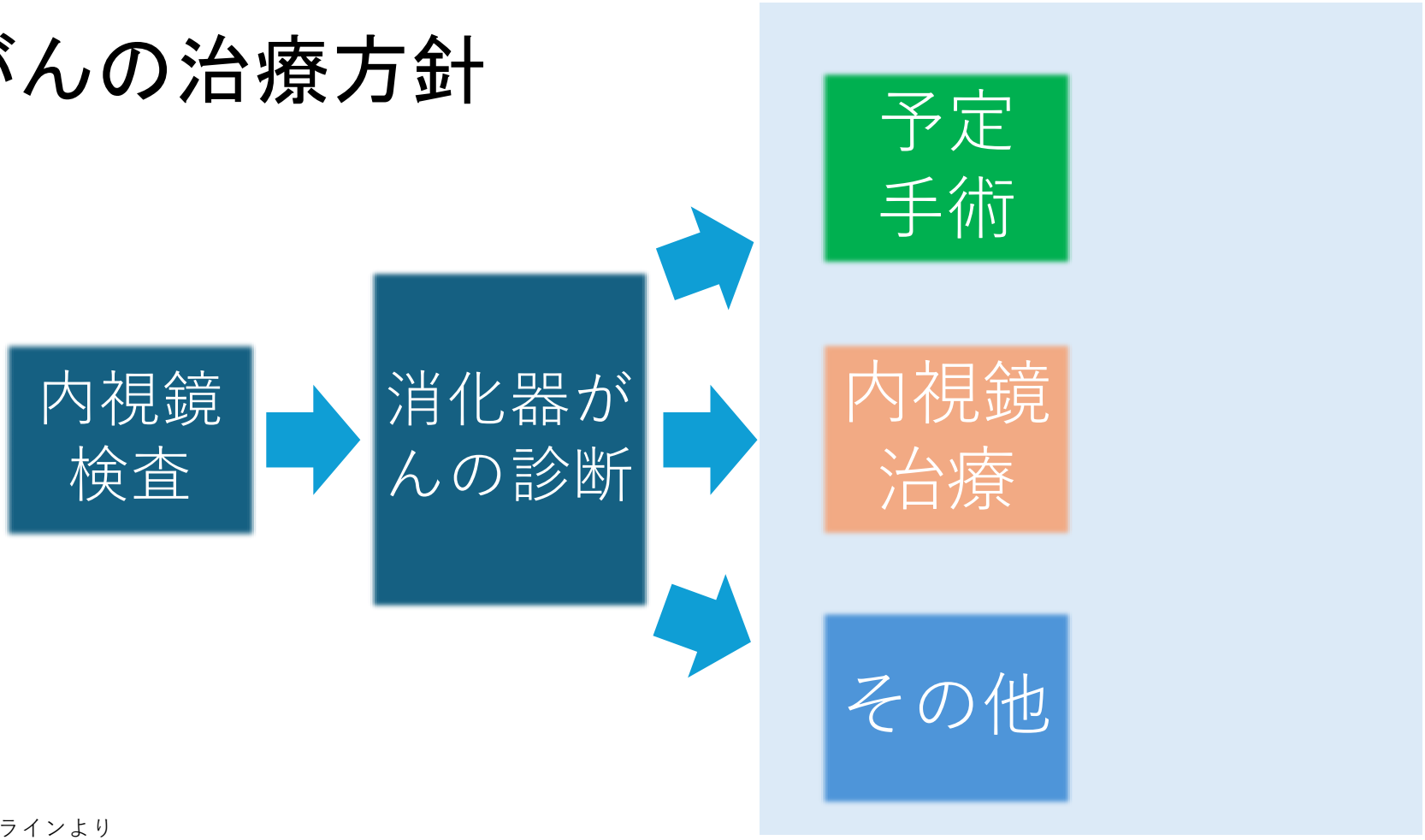


2023年～

ベトナムにおける内視鏡機器を用いた消化器がん腫瘍専門医の育成（ベトナム国家大学　ホーチミン）



消化器がんの治療方針

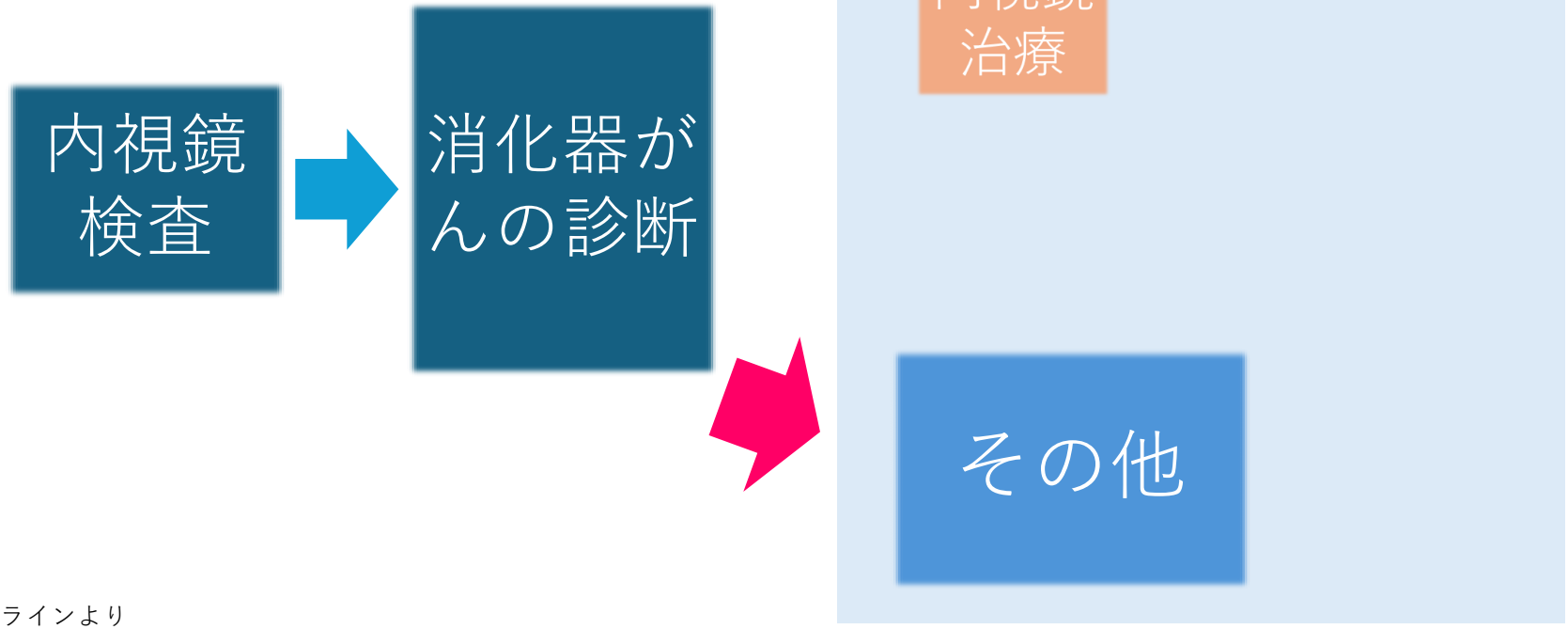


患者さんのための大腸癌治療ガイドラインより



消化器がんの治療方針

東南アジアの場合



患者さんのための大腸癌治療ガイドラインより

消化器がんの治療方針

東南アジアの場合

内視鏡検査 → 消化器がんの診断

- 予定手術
- 内視鏡治療
- その他

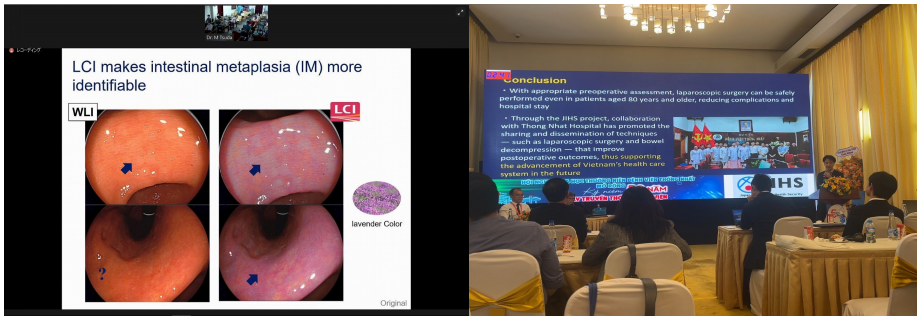
・適応症例が少ない
・治療技術が普及していない
・機器が不足している

患者さんのための大腸癌治療ガイドラインより

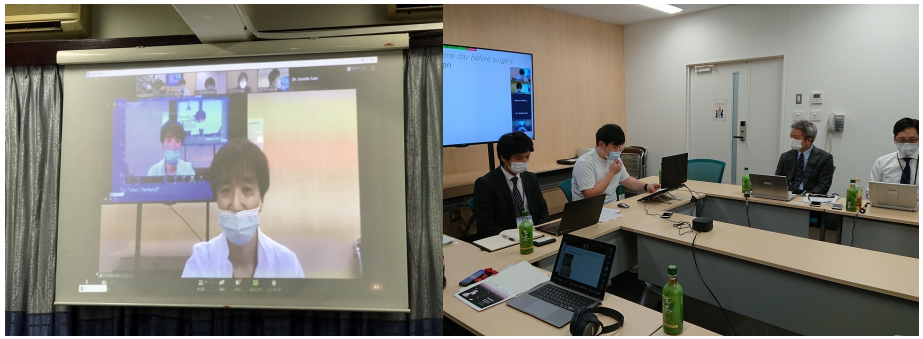




対象国の現地の
現状やニーズの把握



内視鏡診断や内視鏡治療の
技術や知識に関する講義



内視鏡診断や内視鏡治療の
オンライン講義の実施



ドライモデルを用いた
内視鏡治療の実演

JIHS
Japan Institute for Health Security

JIHS (the Japan Institute for Health Security)
令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会

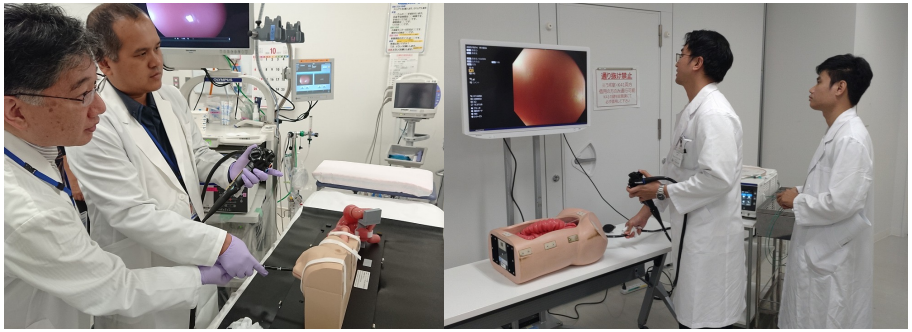




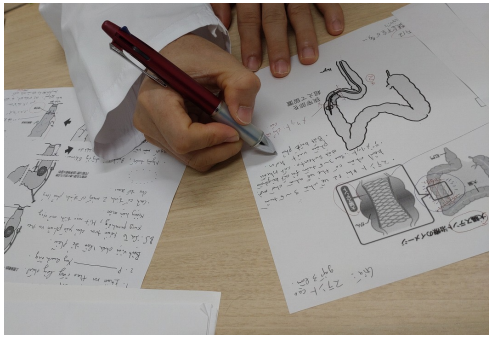
内視鏡や治療に用いる
医療機器の知識と理解

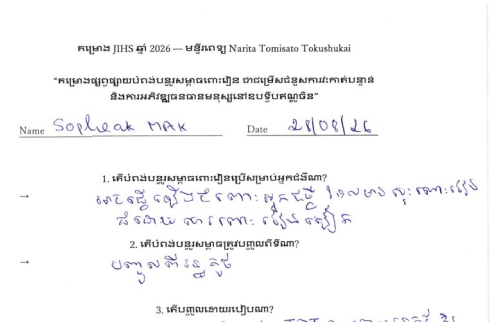


内視鏡診断や内視鏡治療の
日本での手技の見学



ドライモデルを用いた
内視鏡手技の自己研修



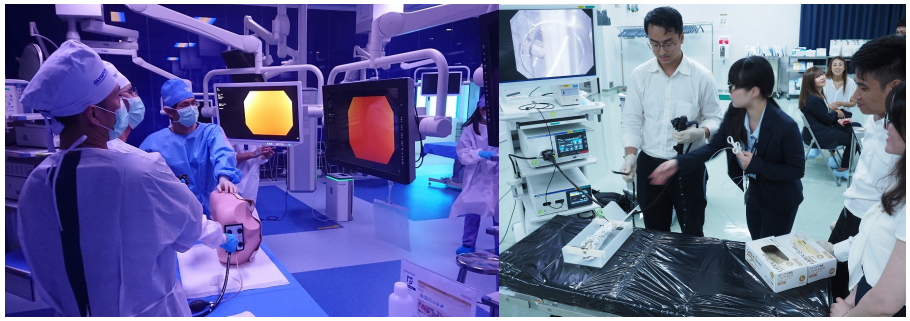


母国語による研修の
プレ・ポストテストの実施

Japan Institute for Health Security

JIHS (the Japan Institute for Health Security)
令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会





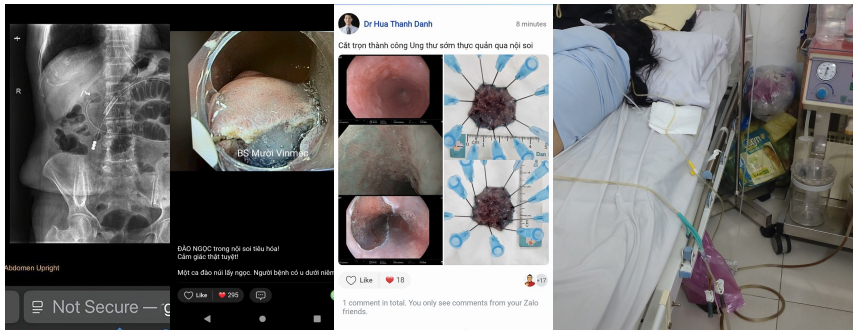
協力機関のトレーニング施設
を活用した研修



カダバーや動物を用いた
ウエットトレーニング研修



本邦研修修了者による
帰国後の実施報告



日本と現地との間で
SNSを活用した症例の共有

Japan Institute for Health Security

JIHS (the Japan Institute for Health Security)
令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会





本邦研修者による
現地学会等での普及活動



養成した現地指導者による
ワークショップの開催



現地の学生やレジデントへの
治療戦略に関する講義



現地の学生やレジデントへの
ワークショップの企画

Japan Institute for Health Security

JIHS (the Japan Institute for Health Security)
令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会





治療方針を決める
現地の症例検討会への参加



現地の主要機関
大学・学会への働きかけ



現地の患者さんを対象とした
内視鏡治療の実施



協力企業と連携した
医療機器の展開推進活動

Japan Institute for Health Security

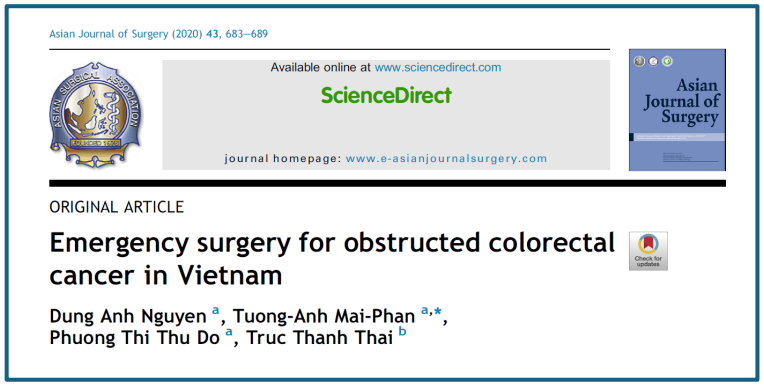
JIHS (the Japan Institute for Health Security)
令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会



消化器がんの治療方針

東南アジアの場合

内視鏡検査 → 消化器がんの診断


Asian Journal of Surgery (2020) 43, 683–689

Available online at www.sciencedirect.com

ScienceDirect

journal homepage: www.e-asianjournalsurgery.com

ORIGINAL ARTICLE

Emergency surgery for obstructed colorectal cancer in Vietnam

Dung Anh Nguyen [a], Tuong-Anh Mai-Phan [a,*], Phuong Thi Thu Do [a], Truc Thanh Thai [b]

Asian Journal of Surgery (2020) 43, 683-689

- 大腸癌患者の24.2%が、初診時に腸閉塞を伴っている
- そのうち79.1%が、24時間以内に緊急手術を受けている
- 緊急手術症例の71.8%で、人工肛門造設が必要となる
- 重篤な合併症：16.1%
  死亡率：7.5%



症状
なし

症状
あり



内視鏡
検査

消化器が
んの診断

日本の場合

予定
手術

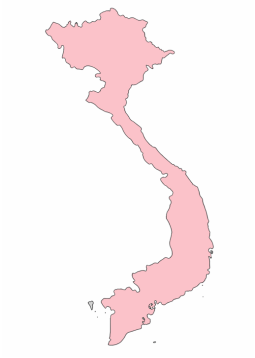
内視鏡
治療

その他



症状
なし

症状
あり



内視鏡
検査

消化器が
んの診断

予定
手術

内視鏡
治療

その他

ベトナムの場合



Bệnh viện Bạch Mai
Bệnh viện Đại học Y Hà Nội
Bệnh viện Đa khoa Quốc tế Vinmec Times City
Bệnh viện Trường Đại học Y Dược Buôn Ma Thuột
Bệnh viện Ung Bướu Đà Nẵng
Bệnh viện Đà Nẵng
Bệnh viện Trung ương Huế
Bệnh viện Thống Nhất
Bệnh viện Đa khoa Xuyên Á
Bệnh viện Nhân dân 115
Bệnh viện Nguyễn Tri Phương
Bệnh viện Nhân dân Gia Định
Bệnh viện Thành phố Thủ Đức
Bệnh viện Trường Đại học Y Dược Cần Thơ
Bệnh viện Đa khoa Trung ương Cần Thơ
Bệnh viện Đa khoa Khu vực Châu Đốc
Bệnh viện Ung Bướu Thành phố Hồ Chí Minh
Bệnh viện Bình Dân
Bệnh viện Đa khoa Trung tâm Tiền Giang
Bệnh viện FV

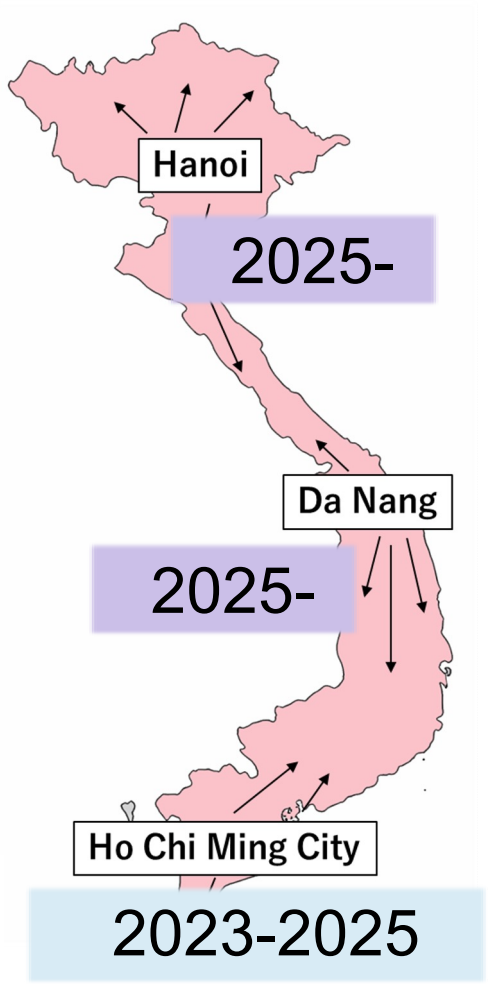
内視鏡下腸管減圧機器の普及活動を展開

2023年
トンニャット病院
ビンダン病院　**2施設**

2026年
大学病院　市民病院
プライベート病院を含む
ベトナム国内　**20施設**



CREATE MEDIC



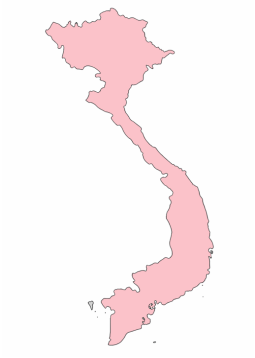
JIHS
Japan Institute for Health Security

JIHS (the Japan Institute for Health Security)
令和8年度 医療技術等国際展開推進事業　成果報告会



症状
あり

症状
なし



内視鏡
検査

消化器が
んの診断

予定
手術

内視鏡
治療

その他

今後の目標



事業を通じて見えてきた持続的な活用と定着に関する課題

- **関係機関とのスケジュール調整に時間を要する**
  複数施設・関係者との日程調整が必要であり実施までに長期間を要する
- **公的な承認・申請手続きの期間が不透明**
  医療機器の承認、院内採用、保険・調達等の手続きに要する期間を事前に予測することが難しい
- **医療機器の導入から定着までに時間を要する**
  導入後も、使用経験の蓄積、医療従事者への教育、院内体制の整備、継続的なフォローアップが必要となる
- **現地の協力機関・キーパーソンの確保**
  継続的に活動を推進する現地の医療機関や担当者の存在が不可欠であるが、適切なパートナーを見つけることは容易ではない



これらの課題に対する対応と解決策

- **事前に関係機関との協議を進め、スケジュール、意思決定者を明確にする。**
- **現地ニーズの掘り起こし**
  研修参加者や現地担当者と対話を重ね、潜在的な課題やニーズを把握する
- **現場の主体性・意欲（パッション）を引き出す**
  導入効果や成功事例を共有し、医療従事者の主体性と意欲を高める
- **ニーズへの迅速かつ柔軟な対応**
  現場の声を事業に反映し、支援内容や導入方法を柔軟に改善する
- **現地の行政機関、医療機関、学会やその専門家などと連携し、現地で継続的に活動を推進できる人材・施設との関係を構築する**

